

上関地点 平成24年度第3四半期の環境監視調査結果について

平成24年10月～12月までの調査の結果は、すべて環境基準や管理目標値などを満足している。また、陸生・海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要	
大気質		10月～12月 (連続測定)	環境基準に適合していた。 【調査期間中の各最大値】 ・二酸化硫黄:0.004ppm(日平均値), 0.014ppm(1時間値) ・二酸化窒素:0.013ppm(日平均値) ・浮遊粒子状物質:0.037mg/m ³ (日平均値), 0.051mg/m ³ (1時間値)	
騒音・振動		10月16日 11月13日 12月20日	管理目標値内であった。 ・騒音最大値:76dB ・振動最大値:30dB未満(振動レベル計の測定下限値)	
水質	海水の濁り	—	期間中、海域工事は実施していないため、測定を実施していない。	
	陸域工事排水の水質	10月3日 11月7日 12月6日	管理目標値内であった。 ・水素イオン濃度:7.0～7.2 ・浮遊物質濃度:1～2mg/L(日平均値)	
陸生生物	ハヤブサ	10月16日 11月20日 12月14日	鼻線島において、全ての時期に雌雄各1個体の生息を確認した。	写真 1
	植生	—	春・夏に各1回ずつ調査をすることとしているため、第3四半期は調査を実施していない。	
海生生物	潮間帯生物	10月15, 16日	植物ではクロメ、サビ亜科など28種、動物ではヒザラガイなど34種を確認した。	写真 2
	海藻草類	10月15, 16日	クロメ、ノコギリモク、イワノカワ科など34種を確認した。	
	底生生物	10月15, 16日	サザエやムラサキウニなど6種を確認した。	
	スナメリ	10月～12月 (週1回・計13日)	計13回、延べ33頭を確認した。	
	カクメイ科等の貝類	11月13日 ～11月14日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール2箇所のうち1箇所調査を実施した。	

【参考】その他の環境調査

○カラスバト

10月～12月の調査の結果、全ての時期に鼻線島で姿や鳴声を確認した。
また、天田島でも11月に姿や鳴声を確認した。(写真3)








○カンムリウミスズメ

10月～12月の調査の結果、12月に1個体(宇和島北北西)を確認した。

【環境基準, 管理目標値一覧】

項 目		環境基準または管理目標値
大気質	二酸化硫黄	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下
	二酸化窒素	環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下
	浮遊粒子状物質	環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下
騒 音		管理目標値：85dB 【参考】騒音規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」を準用
振 動		管理目標値：75dB 【参考】振動規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」を準用
海水の濁り	浮遊物質	管理目標値：バックグラウンド+10mg/L以下
陸域工事 排水	水素イオン濃度	管理目標値：5.0以上9.0以下
	浮遊物質	管理目標値：日平均150mg/L以下

【調査写真】

<p>写真1:ハヤブサ</p>  <p>オス(12月14日)</p>  <p>メス(12月14日)</p>	<p>写真2:海生生物(10月15, 16日)</p>	
<p>写真3:カラスバト</p>  <p>(11月16日天田島)</p>	 <p>サビ亜科</p>	 <p>ヒザラガイ</p>
	 <p>クロメ</p>	 <p>ノコギリモク</p>
	 <p>サザエ</p>	 <p>ムラサキウニ</p>

以 上